

令和5年度「自己評価報告書」

社会福祉法人愛護会
金ヶ崎保育園

I 保育目標

- 健康で明るい子ども
- なぜだろうと考え、物事に疑問をもつ子ども
- 自分のことは自分でできる子ども
- 他人のことを考え、協力できる子ども
- 自然にしたしみ、愛することのできる子ども
- 豊かな心を持つ子ども
- 人の話をしっかり聞き、自分の意思を言葉で話せる子ども

II 施設運営の重点課題

- 保育内容の充実
- 風の子農園運営
- 地域社会や社会資源の積極的活用
- 障がい児保育の充実
- 子育て支援活動の推進と地域福祉の向上
- 食育指導の充実
- 職員の資質向上
- 郷土文化伝承の促進

評価の基準

A	充分達成されている
B	達成されている
C	取り組んでいるが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

III 評価項目と取り組み状況

自己評価項目		評価	取り組み状況
1	保育内容の充実 たくましい子を生み育てるために、乳幼児の健全な発達をめざして保育の内容の充実を図る	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち一人ひとりの家庭環境と子どもの発達を理解し保育を展開するように努めた。 ・年長組が興味・関心を持った「野菜」をテーマとし地域交流のもと園全体で取り組むことができた。
2	風の子農園運営 地域の方々の協力を得ながら働くことの喜びや、食べ物に対する感謝の気持ちを育てる	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もコロナ感染防止対策のもと、園独自で畑づくりに取り組んだ。畑づくりの様子は、ブログ、地域への手紙で発信した。収穫した野菜を使って、5歳児がクッキングを楽しみ、さつまいもは地域の方に届ける等の取り組みを行った。
3	地域社会や社会資源の積極的活用 地域力を保育に活かし、子ども達が豊かな生活体験、感動体験ができるように展開し「地域と共に」取り組んでいく	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、様々な感染防止対策のもと、野菜を通して高校生や地域の方との交流から全園児での楽しい活動につながった。又福祉施設訪問、地域行事等への参加を行い貴重な体験ができた。様々な活動の様子を「わんぱくだより」とし、地域の方・子育て中の親子が集まる地区センター等への情報発信を行い地域とのつながりを大事に取り組んだ。

4	障がい児保育の充実	家庭、専門機関、関係機関、との連携を密にしながら保護者との相互理解を図り適切な環境の下で保育の充実を図る	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の保育・子どもの姿について保護者と話し合いをもちながら適切な援助ができるようにすすめた。 ・年長組は就学に向けて保護者との話し合いは回数を重ねて行き、必要に応じて教育委員会・専門の方から助言を頂きながら進めていくことができた。小学校・専門機関・関係機関をつなぐ等、取り組むことができた。
5	子育て支援活動の推進と地域福祉の向上	保護者や地域ニーズに応えるサービス提供組織として、保護者や地域の多様なニーズに対応し、乳幼児の発達を尊び、家庭との連携を密にする保育を展開する	B	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育、延長保育、障がい児保育、休日保育、病児保育事業を行った。病児保育事業は、保護者の要望に十分応えられるように努めた。 ・4月から金ヶ崎町1歳半健診へのサポートが再開され、対応を行った。
6	食育指導の充実	「食を営む力」を育むため、保護者、家庭、地域との連携を深め「食べる」ことや「いのち」への関心を高め、子どもの健やかな心と健全育成を促していく	A	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展示会は、食育に関する展示を行い、乳幼児期に身につけたい食習慣について保護者に発信した。 ・アレルギー児への対応は、かかりつけ医師の指示書、保護者からの依頼書のもと、看護師、栄養士、保育士が連携を取り合い適切に行った。又、アレルギーに関する研修・職員情報共有のもと知識を高めることに努めた。
7	職員の資質の向上	職員一人ひとりが、たくましい子を生み育てる保育の実践と研究を進める	A	<ul style="list-style-type: none"> ・4園共通の3テーマ「保育の環境」「保護者支援」「エピソード記述」について、チーム研修まとめの年となり職員間で取り組み内容を見合い、研修を深めることができた。 ・園内研修として自己評価研修等を通し、自分自身への振り返りを重ね、職員の資質の向上を目指した。
8	郷土文化伝承の推進	郷土文化伝承活動「子ども鹿踊り」を保育に取り入れ、地域の子育て文化を地域に発信していく	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度も鹿踊り保存会の方から指導を、協力を頂き、年長組が「子ども鹿踊り」に取り組み、9月運動会・11月鹿踊り発表会(年長組お家の方対象)で披露した。